



須留が峰

令和5年度
No.28

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>

卒業おめでとう!

令和6年3月11日 発行



素晴らしい卒業式でした

3月8日(金)、養父市立養父中学校 第35回卒業式を挙行し、35期生73名が本校を巣立っていきました。

先週は、週明けから当日の天気予報を確認するたびに、雨であったり曇りであったり、そのうち雪マークまでが表示されて心配しましたが、当日は時折、雲間から日の差す穏やかな天気となり、屋外での見送りも明るい日の光の中で行うことができました。3年生や保護者の皆様のおかげと感謝するばかりです。午後からは、予報どおり天気が急変し、強い風雨に見舞われたことを思うと、午前中の天気の穏やかさはまさに奇跡のようです。



卒業式練習の時から、1・2年生、3年生ともに、とにかく姿勢がよく、凛としたかっこよさがありました。当日はさらに洗練されて、全体として落ち着いた、まさに「礼節」という言葉を用いるにふさわしい素晴らしい式になりました。

練習の時、すでに全校生はキリッとしていましたが、「1・2年生の姿勢がいいのは、3年生の背中がかっこいいからだ。3年生の背中がかっこいいのは、これまで養父中で頑張ってきたという気概があるからだ。」「2年生は1年後、1年生は2年後に、この場所に座る。自分がこの場所に座った時に、在校生にどんな態度で臨んでもらいたいかを考えて、今、その席に座ろう。」「3年生にお願いがある。1・2年生に、いい背中（姿勢）を見せてやってほしい。それが、1・2年生の目標になるのだから。」と話し、校長としての思いを伝えました。



<答辞を読み上げるOOOOさん>

また、3年生には、証書授与の練習の際に、「担任の先生から呼名されたら、返事をしっかりと届かせてほしい。その返事を受け取ることで、これまでの様々な姿を思い返しながら名前を読み上げ、卒業証書を渡したいから。」と話しました。

当日、1人1人が本当にいい返事を届かせてくれました。その返事を受けて、私もしっかりと心を込めて名前を読み上げ、証書を渡すことができました。ありがたかったです。

今朝から教室棟の1階には誰もいません。教室を覗いても誰もいません。しばらくは「3年生ロス」が続くことでしょう。卒業式で退場する時、そして外で見送りをする時、結構、男子の方が泣いていたなあ、なんてことも思い出しながら・・・

73人がまだこの教室にいてくれて、今でもにっこりと振り向いて、笑って出てきてくれそうなそんな気配を感じながら、誰もいない静かな静かな3年生教室を見つめています。



<送辞を読み上げるOOOOさん>

「To Be a Good School」(良い学校をつくろう)



例年がない猛暑、酷暑が続いたあの夏以降、養父中では、いろいろな場面で「一生懸命は、カッコいい」という合い言葉が繰り返されました。この合い言葉と一体となって学校全体をリードしてくれた皆さん。一見クールで、おとなしい印象のある皆さんが、「一生懸命」を意識して、どんなことにもみんな上手に話し合い、まとまりあって活動していこうとする姿に、柔らかいけれども確かな力強さをいつも感じ取っていました。

(中略)

どうか、これからも「一生懸命」の人であってください。一生懸命ひたむきに努力していれば、天が必ず、「がんばっているのだから、助けてやろう」と、知恵の扉を開いて力を貸してくれると聞いたことがあります。

うまくいっている時も、困難を感じ、つらくなった時も、心のどこかで「一生懸命は、カッコいい」とつぶやいて、その時に踏み出せる歩幅でいいから、とにかく前へと進んでいってください。

そのために必要なのは、「助けて」って頼ることができたり、逆に「助けて」って頼られたりするような素直に助け合える仲間です。「自立している人」とは、そんな仲間と力や知恵を出し合って互いを補い、「ありがとう、助かった」と感謝の言葉を交わし合いながら、物事にあたっていく力をもった人のことをいうのだと思います。

本校の校是である「生きる」とは、分かちあうこととは、そんな生き方を表しているのではないのでしょうか。

それぞれ新たな道に進んでいこうとする皆さん。新たな出会いの中で、頼り頼られながら、かけがえのない青春を力一杯謳歌していかってください。

養父中学校は、いつまでも皆さんの後ろ姿を応援し続けます。

(卒業式 学校長式辞から一部抜粋)



式の後でのスナップから



「ABC + DE」はすべてのベース